

授業科目名	解剖生理学			授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (基礎科目A)			
担当教員名	與谷 謙吾					補助担当者名				
単位数	2 単位			履修年次	1年次	受け入れ人数	-			
授業の概要	解剖生理学は身体の一般的な「構造」や「機能」を把握する学問であり、その基準(一般)となる知識を構築することで対照となる身体の異常について客観的な理解を促すことができる。そのため、本講義では「かたちが解ればはたらきが見えてくる」という格言を軸に身体の各構成要素を器官、組織、細胞レベルの順に講義していく。人体の基礎的知識を身につけることで、将来ヒトを見る・指導する体育指導などの分野に役立つと期待される。									
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	専門的な知識・教養 (専門的な知識・教養)	授業期間				定期 試験	その他	割合 %	
			授業	テスト	レポート	発表				
		■認知的領域	正常な人体の仕組み(構造・機能)を系統的に理解できるようになる					○		100
		□情意的領域								
□技能的領域										
成績評価の基準	授業中に解説・紹介した解剖生理学の知識に関する理解度を筆記試験によってのみ評価し、60点以上の者を合格とする。									
テキスト、教材 参 考 書	・参考書：「解剖生理学」(高野廣子 著、南山堂) ISBN: 4-525-60081-0 ・参考書：「ぜんぶわかる人体解剖図」(坂井建雄、橋本尚詞 著、成美堂出版) ISBN:978-4-415-30619-3 ・配布資料：講義内容に応じて適宜配布する。									
履修条件・ 関連科目	運動生理学を履修予定の学生は本講義を履修しておくことが望ましい。			備考(教員メッセージ含む)		本講義では、私語等による授業妨害はマイナス評価で取り扱う。				
オフィス・アワー	與谷：随時(事前にメールで連絡を頂ければ有難いです) 研究棟3階 306研究室 yotani@nifs-k.ac.jp									
授業計画										
回	担当教員名	授業内容				授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	與谷 謙吾	オリエンテーション：かたち(解剖)とはたらき(生理)				今後の講義予定を確認し、来週以降から実施するテーマについて情報収集する。(1時間)				
2	〃	外部からみた人体の構造(上肢や下肢などの人体の名称について)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				
3	〃	内部からみた人体の構造(内臓の名称や位置について)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				
4	〃	人体の器官系　：呼吸・循環系(ガス交換や動脈・静脈などについて)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				
5	〃	人体の器官系　：消化器(食道から肛門までの消化・吸収などについて)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				
6	〃	人体の器官系　：泌尿器(水分調節や尿生成について)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				
7	〃	人体の組織　：骨(関節の名称や成長・成熟などについて)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				
8	〃	人体の組織　：骨格筋の構造(筋肉の種類や名称などについて)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				
9	〃	人体の組織　：骨格筋の収縮(滑走説や興奮収縮連関などについて)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				
10	〃	人体の組織　：脳と脊髄(中枢神経系に関する構造・機能について)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				
11	〃	人体の組織　：運動神経と感覚神経と自律神経(末梢神経に関する構造・機能について)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に、末梢神経に関する構造・機能について復習を行う。(2時間)				
12	〃	人体の組織　：神経の伝導路(上行伝導路(感覚)と下行伝導路(運動)の役割について)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				
13	〃	人体の感覚器　：目(眼球の構造や視機能について)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				
14	〃	人体の感覚器　：耳(聴覚と平衡覚について)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				
15	〃	人体の細胞(細胞小器官と興奮発生の機序について)				本講義のテーマに関する事項を参考書等から予習し、受講後、配布された資料を基に復習を行う。(2時間)				

